

大槌町 教員研修(月と太陽の形, 月と星のうごき)

日時: 2013年7月30日

場所: 大槌町立大槌小学校

参加者: 大槌小学校、吉里吉里小学校の教員 13名

単元: 「月と太陽の形」、「月と星のうごき」に関連した実験観察にかかわる指導と教材教具の工夫

講師: 貞光 千春(お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師)

実施方法:

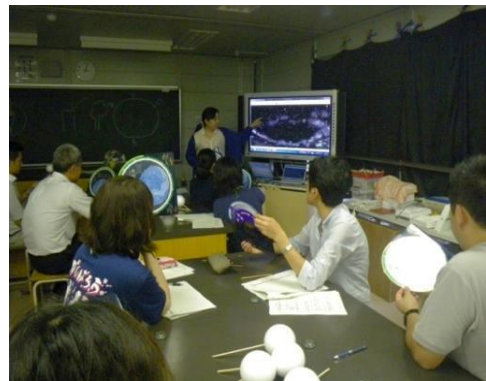
大槌小学校に訪問して実施。月の満ち欠けでは、理科室の窓を暗幕で覆って実験を行った。国立天文台が提供するプラネタリウムソフト(mitaka)を活用した授業の提案を行い、パソコン室で操作体験を行った。発泡スチロール球などの教具とソフトをダウンロードしたDVDを配布した。

実施結果:

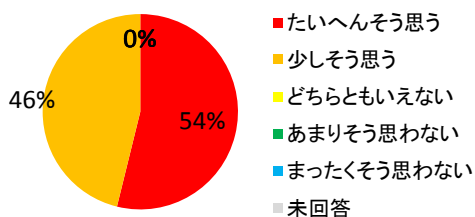
実験を行うのが難しい月の満ち欠けについて、発泡スチロール球を用いた効果的な学習方法を学んだ。またデジタル教材を利用することで昼間の観察ができない星の動きについて学ぶ方法を紹介した。実験における技術的なアドバイスや、不足する教材の補充を求める声があった。

アンケート結果(感想):

- ・具体的な教材を紹介して頂いたので、大変参考になりました。自分が楽しかったのできっと子どもたちも楽しんで学べると思います。ぜひ2学期の授業に取り入れてみたいと思います。
- ・教具教材の工夫ひとつでとてもわかりやすい授業に変わりますね。これなら子どもたちも理科が好きになりそうです。



理科の授業にはサポートは必要だと思う



理科の授業に必要なと思うサポート

